

八頭町総合戦略事業進捗状況一覧

達成状況:○(達成)／△(未達成)

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容			実績・予算
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-1-①	大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等	雇用確保 15人(3人/年)	5人	○	町内の農業生産法人において、耕作規模の拡大により新しく農業従事者が2名、町森林組合において新しく林業従事者が3名の雇用確保が図られた。	1,170,830	鳥取森林整備担い手育成対策事業補助金、林業労働者福祉向上推進事業補助金を活用して、林業従事者の雇用確保を図る。	産業観光課 (町内農業生産法人) (八頭中央森林組合)
				3人	○	鳥取森林整備担い手育成総合対策事業費補助金、林業労働者福祉向上推進事業費補助金を活用して、八頭町中央森林組合において林業従事者3名の雇用を確保した。	1,475,052		
	1-1-②	大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等	連携事業従事者数 25人	0人	△	被保護者・生活困窮者の就労支援事業受託事業者が就労支援の一環で、雇用・就労の場を創出する取り組みとして、耕作放棄地等を活用した事業としてナマス・ホンモロコ養殖事業に着手。平成29年度からの事業展開に向けてB型作業所立ち上げの準備を進めたが、年度内の開設には至らず。	—	遊休農地を使って、ナマス・ホンモロコ養殖事業を展開。障がい者の就労継続支援B型作業所を立ち上げる。遊休農地を活用したコミュニティビジネスを展開する。	福祉課 (民間事業者)
				0人	△	ナマス・ホンモロコ養殖事業については、生産・出荷できる段階にきているが、B型作業所として使用(賃貸予定)できる施設がまだ確保できていないため、事業を立ち上げるまでに至っていない。引き続き、物件探しをしているところ。	—		
	1-2 【重点取組】	地場産業の支援や6次産業化による雇用の確保	雇用確保 15人(3人/年)	68人	○	有限会社ひよこパニーの農家レストラン等の整備(H28年3月完成)の支援や町内事業者の取組により、雇用の確保を図った。	0	6次産業化に取り組む企業、農業者を支援することにより雇用の確保を図る。	産業観光課 (八頭町商工会)
				37人	○	起業家支援補助金による支援、起業相談により雇用の確保を図った。有限会社田中農場の6次産業化(ピクルス、柿つき餅)による事業拡大の支援により雇用の確保を図った。	13,060		
	1-3	農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備	新規就農者 5人(1人/年)	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、青年就農給付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	750,000	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による農業技術の習得などの職業訓練を実施することで、農業の担い手の人材育成を行う。また、農業次世代人材投資資金を活用して経営確立に資する。	産業観光課
				1人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金を活用して営農開始した。	750,000		
	1-4 【重点取組】	果樹栽培の後継者の養成	後継者の養成 5人(1人/年)	1人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を1名養成するとともに、果樹優良園維持管理事業により、担い手が農業収入を得やすい環境を確保した。	1,408,296	果樹優良園維持管理事業を活用して休園となった果樹の優良園を維持管理したり、梨の経営モデル団地の整備により、担い手が農業収入を得やすい環境を整える。	産業観光課 (JA鳥取いなば農協)
				2人	○	親元就農促進支援交付金事業を活用して、果樹農家の後継者を2名養成するとともに、果樹優良園維持管理事業により、担い手が農業収入を得やすい環境を確保した。	2,702,270		
	1-5	鳥獣害対策の促進	新規狩猟免許取得者 15人(3人/年) 防止柵設置延長 5,000m(1,000m/年)	新規狩猟免許取得者 1人/年 防止柵設置延長 2,479m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費や新規猟銃購入者への購入に係る経費助成を行うとともに、国庫事業を活用して侵入防止柵を設置。	3,595,000	若者等への新規参入を図るため、狩猟に係る研修会や講習会等の開催。計画的な侵入防止柵の設置に向けた集落への説明会等の開催。	産業観光課 (八頭町猟友会)
				新規狩猟免許取得者 4人/年 防止柵設置延長 16,452m/年	○	新規取得者への免許取得に係る経費助成を行うとともに、国または県事業を活用して侵入防止柵を設置。 新規狩猟免許取得者:累計20名 防止柵設置延長:20,127m	8,581,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-6	高校・大学との連携強化(人材の活用)	連携事業数(高校) 2件/年 連携事業数(大学) 3件/年	連携事業数(高校) 4件 連携事業数(大学) 19件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0	高等教育機関等との連携事業の推進を図る。	地方創生室ほか
				連携事業数(高校) 4件 連携事業数(大学) 20件	○	鳥取大学、公立鳥取環境大学、八頭高校等と連携し、教育、環境、調査研究など様々な分野における取組を実施。	0		
	1-7	町が必要とする人材の募集	仕事ごとの定住 5件(1件/年)	2件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	14,043,000	移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワノクニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図るとともに、若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し若者の定住を促進する。	地方創生室ほか (一般社団法人ワノクニ)
				5件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,000,000		
	1-8 【重点取組】	サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーター創造地域の創設	誘致企業数 5社(1社/年) 利用従業員数 50人/年	0社	△	委託契約を継続し、マスタープランの推進と誘致検討企業への先行的な働きかけを引き続き実施。拠点施設となる隼Lab.の整備と運営等について、具体的な検討を進める。 ※H29.4 入居予定企業等7社が出資する(株)シーゼンハヤブサが設立。	9,434,000	拠点施設の運営等について、町、地域及び運営会社で連携を図り、地域振興に資する取組を進める。	地方創生室
				11社	○	委託契約を継続し、マスタープランの推進と誘致検討企業への先行的な働きかけを引き続き行うとともに、拠点施設となる隼Lab.を整備。 ※当初から11社が入居(現在12社)	179,323,140		
	1-9	鳥取県や他市町と連携した企業誘致の促進	誘致企業数(東部圏域のうち八頭町内) 5社(1社/年)	0社	△	八頭町内のみに限らず、鳥取県東部圏域への企業誘致を促進するため、鳥取県や他市町との情報交換、情報共有を実施。企業から問い合わせが複数、具体的な交渉を進めた案件があったものの、条件面等が合わず、誘致企業数は0件。	0	企業誘致には単年で誘致となる案件はまれであり、他市町・町関西事務所とも連携を図り、誘致を進めるべく、情報交換・情報発信を行う。	産業観光課 (八頭町商工会)
				2社	○	県外から1社、鳥取市から1社の誘致を進めた。(うち県外1社は、H30起業家支援補助金を申請予定)	0		
	1-10	誘致企業や新規進出企業、起業に対する支援策の充実	誘致企業数 5社(1社/年) 新規起業数 5社(1社/年)	誘致企業数 0社 新規起業数 1社	△	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施。	1,318,000	起業家支援補助金、企業立地促進奨励金等による支援、町・商工会等での起業に対する相談対応を実施する。	産業観光課 (八頭町商工会)
				誘致企業数 2社 新規起業数 4社	○	起業家支援補助金等による支援、町・商工会等で起業に対する相談対応を実施。	2,762,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業者	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
1. まちの資源や特性を活かした働く場の確保	1-11 【重点取組】	若桜鉄道等を活用した観光振興	若桜鉄道乗客数 410,000人/年	310,361人	△	若桜鉄道の車両について、27年度に決定した観光仕様化に係るデザインコンセプトに基づく設計及び内装品の整備(3両分)を実施。その他、観光車両関連グッズの制作や沿線活性化イベントを開催。12/3～4に実施した読売旅行とのタイアップツアーでは、2日間で約1,000名の誘致に成功した。高校生通学定期半額助成では、延355名からの申請があった(昨年度比延235名増)	41,248,945	若桜鉄道車両の観光車両への改装工事を行う(H31まで)。併せて30年度においては、2次車運行に向けたツアー造成やグッズ製作(第3弾)等を行い観光客誘致に取組むとともに、高校生通学定期半額助成を継続実施し、利用者の確保対策と安定した収入確保に向けた取組みを一体的に実施する。	企画課 (若桜町) (若桜鉄道株式会社)
				325,597人	△	若桜鉄道の鉄道施設及び車両の保守管理を着実に実施するとともに、若桜鉄道の車両改修を行い、観光列車「昭和」としてH30.3.4から1次車の運行を開始。「昭和」の運行に向けては、観光ツアー商品の造成、「昭和」オリジナルグッズ(第2弾)の製作及び沿線のおもてなし環境整備に取り組んだ。なお、観光ツアーにおいては、3月4日の運行開始を皮切りに既に上期の9月末までは旅行会社の予約で埋まる人気ぶりで、観光客誘致への「昭和」効果が着実に生まれている。また、12/2～3に実施した読売旅行とのタイアップツアーでは、2日間で864名の誘致に成功した。その他、高校生通学定期半額助成では、延388名(昨年度比33名増)の高校生に助成を行った。	214,297,323		
	1-12	消費者のニーズを踏まえたマーケットイン型の観光商品の開発	観光商品数 15件	3件	△	若桜・八頭エリアで民間委員等によるミーティングを行い、観光商品の開発を試行。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について基礎調査を実施するとともに、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートの創出を図った。12/3～4には読売旅行とのタイアップツアーを実施。	2,852,000	地域発観光商品開発プロジェクトとして若桜・八頭エリアで行った観光商品素案について、ブラッシュアップ及び試行を実施。若桜鉄道沿線及び周辺観光資源の商品化に向けた取組を実施。	産業観光課ほか (八頭町観光協会)
				8件	△	若桜・八頭エリアで観光商品の開発を行う実行委員会を立ち上げ、商品の具体化を検討。累計12商品を開発。【地域発観光商品開発プロジェクト】鳥取因幡・兵庫北但西部圏域の1市6町の観光資源等について、Gバスなど圏域を巡る周遊観光ルートを継続実施。12/2,3には読売旅行とのタイアップツアーを実施。観光協会によるやずみSL博物館への集客を図るイベントやウォーキングの開催。	1,727,000		
	1-13	八頭町をイメージアップする情報発信の強化	ホームページアクセス数 300,000件/年	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じ全国に向けて発信した。	16,530,265	今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課
				234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の様相を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR、取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
2. 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備	2-1-①	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	イベント回数H29 10回 参加者数H29 500人	イベント回数 19件 参加者 335人	△	若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体への支援を実施。	1,241,905	継続して交流イベントを企画するとともに、イベントを開催しようとする団体の活動等に対して、県・町の補助金により支援を行う。【みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業・魅力ある地域づくり推進事業等】	地方創生室ほか (八頭町観光協会) (八頭町連合青年団)
				イベント回数 37件 参加者 787人	○	若者の交流の場を提供するイベントを実施するとともに、イベントを開催しようとする団体への支援を実施。	900,000		
	2-1-②	若者の交流、社交の場の確保(空き施設等利用)	青年団発足 1団体/リーダ-養成 15人(3人/年)	青年団 1団体/13人	△	八頭町きらめき祭でバザ-を出店する等、少しずつ活動を始めている。補助金による活動支援を図った。	50,000	青年団活動再開に向けリーダ-の発掘を行う。	社会教育課
				青年団 1団体/8人	○	町や地域のイベントへの出展や県連合青年団事業への参加等の活動を実施し、これらに対する補助金による活動支援を図った。しかしながら、現団員それぞれが多忙となるなど活動が困難となり、年度末で活動休止となった。	80,710		
	2-2-①	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	魅力あるまちづくり事業 5事業/年	7事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進した。	855,000	魅力ある地域づくり事業として、地域振興に寄与する取組に対する助成事業を継続する。	地方創生室
				6事業	○	地域振興や活性化につながる事業に取り組む個人・団体を支援し、魅力ある地域づくりを推進。	943,000		
	2-2-②	まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催	婚活事業 3事業/年	5事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施した。(町単独で3回、他市町との合同で2回実施)	483,601	町単独のイベントと他市町との合同イベントを実施し、結婚のきっかけづくりとなる事業について継続して取り組む。	地方創生室
				4事業	○	結婚を希望する方に結婚のきっかけとなる出会いの場を提供するため、婚活イベントを実施。(町単独で2回、他市町との合同で2回実施)	437,924		
	2-3	不妊治療の支援の実施	希望者の申請により助成を実施	継続申請者(11人)、新規申請者(7人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	1,685,101	不妊治療の経済的負担を軽減するため、継続して実施する。	保健課
				継続申請者(5人)、新規申請者(5人)	○	鳥取県特定不妊治療費助成金交付事業の交付決定を受けた者に対し、1回5万円を上限として不妊治療費を助成。	608,900		
	2-4	男性の子育てへの参画の推進	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 17社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催した。	222,000	父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催する。	男女共同参画センター
				鳥取県男女共同参画推進認定企業数 18社	△	子育てに対する男女共同参画意識の高揚を図るため、父親の育児講座実行委員会とともに男性の育児・子育て講座等を開催。	279,045		
	2-5	子どものための絵本等の充実	絵本 450冊/年 児童書 450冊/年	絵本 474冊 児童書 372冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、平成28年度は、絵本等の充実を図った。	1,361,000	子どもの読書活動の推進について、図書館が中心的な役割を果たすべく絵本等の充実を図る。	図書館
				絵本 348冊 児童書 435冊	△	子どもの読書活動推進計画に基づき、絵本等の充実を図った。	1,159,091		
2-6	保育料の軽減の拡充	出生数140人/年	107人(平成28年度)	△	第2子以降の保育料無償化を実施。	104,231,000	第2子以降の保育料を無償化し子育て世代の支援拡充を図る。	町民課	
			86人(平成29年度)	△	第2子以降の保育料無償化を実施。	101,358,000			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容			実績・予算
2. 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備	2-7 【重点取組】	子育て中の親が情報を共有できる場、安心して働ける環境の拡充	3歳未満の子どもの数に対する支援センター登録者数 45% 放課後児童クラブの利用者数 140人/年 ファミリーサポートセンター依頼会員に対する支援会員の割合 30%	登録者数 44% 利用者数 161人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターでは、検診等を活用した事業PR、育児相談などを継続実施。ファミリーサポートセンターでは依頼会員増により、安定したサービス提供を図るため支援会員の増に努めている。また子育て支援センターと共同イベント等を開催。放課後児童クラブでは既存クラブ(一部)で5年生受入。夏季児童クラブでは、全町対象に4年生までを対象に実施し利用料も減額した。	30,209,000	子育て支援センターのPR、育児相談などの活動を継続して行う。また、放課後児童クラブの整備による受け入れ児童の拡大を図るとともに、放課後子ども教室事業との連携について関係課と協議。ファミリーサポートセンターについては、支援会員確保のためのPR活動を行う。	町民課
				登録者数 64% 利用者数 159人/年 会員割合 29%	△	子育て支援センターでは、検診等を活用した事業PR、育児相談などを継続実施。ファミリーサポートセンターでは依頼会員増により、安定したサービス提供を図るため支援会員の増に努めている。また子育て支援センターと共同イベント等を開催。放課後児童クラブでは小学校に就学している子どもを対象に受入を行っている。	32,428,000		
	2-8 【重点取組】	保育施設的环境整備	保育所での多様なサービスの実施	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の新築のため実施設計業務及び工事発注を行った。なお新保育所においても平成29年度より多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	733,536,861	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	町民課
				保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設に係る実施設計等を行った。	27,085,000		
	2-9	仕事と育児・介護とが両立できる企業の普及啓発	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社	鳥取県男女共同参画推進認定企業数 17社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の説明や男女共同参画に関する啓発等を図る。	男女共同参画センター
				鳥取県男女共同参画推進認定企業数 18社	△	町報などを通じて、働きながら育児や子育て、介護を行うための制度啓発を行うとともに、町内事業所に対して、認定企業制度の啓発を図った。	0		
	2-10	義務教育施設の整備・充実	再編後の小学校数 4校	8校	○	新八東小学校の改修及び新船岡小学校の改修を実施。また、統合に伴い必要物品等の運搬及び購入を実施。	435,073,000	小学校統合終了	学校教育課
				4校	○	新生『船岡小学校』、新生『八東小学校』を開校し、郡家東小学校、郡家西小学校の4校としてスタート。	0		
	2-11 【重点取組】	小中学校における少人数学級への取組	1学級小学校30人以下、中学校33人以下	1学級小学校30人以下、中学校33人以下	○	郡家東小学校3年生、4年生、5年生、6年生と郡家西小学校3年生及び八頭中学校2年生で町基準で学級編成を実施。	21,000,000	郡家東小学校3年生、5年生、6年生と八東小学校6年生及び八頭中学校2年生、3年生で町基準で学級編成を実施予定。	学校教育課
				1学級小学校30人以下、中学校33人以下	○	郡家東小学校4年生、5年生、6年生と郡家西小学校3年生、八東小学校5年生及び八頭中学校2年生、3年生で町基準で学級編成を実施。	20,000,000		
	2-12 【重点取組】	ICTを活用した授業の充実	各校でのICT授業の実施	各校でのICT授業の実施	○	大型ディスプレイとタブレット型PCを計42セットを新規購入し、各校でのICTを活用した授業を実施。	2,995,000	船岡小学校にタブレット型PC15台と八東小学校にタブレット型PC20台を新規購入し、小中学校における授業改善を推進する。	学校教育課
				各校でのICT授業の実施	○	大型ディスプレイ31台とタブレット型PC48台を新規購入し、小中学校における授業改善を推進。	2,684,556		
	2-13	学校給食におけるアレルギー対応食の充実	保護者の申請によりアレルギー対応給食を提供	小学校 26人/中学校 11人	○	代替食材を使用して別調理等で提供した。	0	学校や保護者との連携を密にし、今後も個々の症状に合わせたアレルギー対応食の提供に努める。	学校教育課 学校給食共同調理場
小学校 21人/中学校 17人				○	代替食材を使用して別調理等で提供した。	0			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業者	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
3. まちへの人の流れをつくる	3-1	鳥取市のベッドタウン化を促進するための道路や宅地等の整備	宅地造成 74戸	0戸	△	民間企業による宅地造成事業に対する補助事業を整備し推進を図った。 ※平成29年度当初、37区画完成予定。	0	申請の実績により予算措置を行い、民間企業の宅地造成事業に伴う補助金により宅地造成の推進を行う。	建設課 (民間事業者)
				39戸	○	民間企業による宅地造成事業に対する補助事業を実施し推進を図った。累計83戸整備済み。	8,446,200		
	3-2	公共交通体制の見直し	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	策定済	○	若桜鉄道の安全かつ安定した運行維持を図るため、鉄道施設及び車両の保守管理について、着実に実施した。 平成28年3月に鳥取県東部地域公共交通網形成計画を策定。	131,760,159	若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両について保守管理を着実にを行うとともに、鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づく事業実施を進める。	企画課
				策定済	○	策定済み。	0		
	3-3	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 300,000件/年	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じ全国に向けて発信した。	16,530,265	今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課
				234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の模様を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR,取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060		
	3-4	鳥取東部市町が連携して実施する移住定住の促進	圏域外からの転入者数 3世帯/年	2世帯	△	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	686,682	東部市町と連携し、首都圏等での移住定住相談会においてPRを継続して実施する。	地方創生室
				4世帯	○	東部市町と連携して、東京や大阪での移住定住相談会に参加しPRを実施。	399,671		
	3-5-①	IJUターンの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	移住者受入50世帯/就労支援数15人	移住者受入 39世帯 就労支援数 0人	△	首都圏等での移住相談会への出展のほか、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行った。 ※ H28転入者数 39世帯 48人	8,000,000	首都圏等で開催される移住相談会への出展のほか、具体的な実施に向け、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノクニ)等と連携を図る。	地方創生室 (一般社団法人ワノクニ)
				移住者受入 28世帯 就労支援数 0人	△	首都圏等での移住相談会への出展のほか、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行った。 ※ H29転入者数 28世帯 51人	8,000,000		
	3-5-②	IJUターンの獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築	お試し住宅の整備3箇所	0箇所	△	おためし住宅の整備に向け、具体的な調整を図る。	0	町営住宅等の空き施設を活用し、お試し住宅を整備する。	地方創生室
				0箇所	△	空き家を活用したおためし住宅整備を検討。	0		
3-6	都市部との交流の促進	都市部との新規交流 5件(1件/年)	3件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、東京都内でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	8,000,000	移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワノクニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図る。	地方創生室 (一般社団法人ワノクニ)	
			9件	○	県・町による移住者受入地域づくり事業補助金により、移住者を受入れる団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行った。都市部と鳥取をつなげる取組として、大阪・東京でワークショップや交流会を開催した。【移住者受入地域づくり事業】	8,000,000			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業者	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
3. まちへの人の流れをつくる	3-7-①	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	移住受入 50世帯/年	39世帯	△	移住定住相談員(1名)を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。 ※ H28転入者数 39世帯 48人	5,578,025	移住定住専門員(1名)を継続して配置するとともに、空き家登録制度について積極的に広報し、登録バンクの充実を図る。	地方創生室
				28世帯	△	移住定住相談員を配置して、空き家物件の調査等及び移住定住相談対応を専門的に行う。また、空き家登録制度について広報し、空き家登録バンクの充実を図るとともに、一元的な情報提供を実施した。 ※ H29転入者数 28世帯 51人	4,921,524		
	3-7-②	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	新築家屋 100棟 (20棟/年)	27件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を実施。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助) 実施数:累計52件	1,711,700	補助予定件数:88件(継続57件、新規31件)	税務課
				30件	○	新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減を行った。(対象住宅に係る固定資産税額の2分の1に相当する金額を3年度を限度に補助) 実施数:累計82件	2,575,200		
	3-7-③	空き家の活用や新築住宅の取得の支援	リフォーム助成件数 20件/年	18件	△	移住定住促進と域内経済の活性化を目的としたリフォーム助成制度を創設し推進。	5,400,000	助成制度は戦略期間中(平成32年度まで)とし、重点的に取り組む。	地方創生室
				10件	△	移住定住促進と域内経済の活性化を目的としたリフォーム助成制度を創設し推進。	3,000,000		
	3-8	農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備【再掲】	新規就農者 5人(1人/年)	1人	○	県と連携を図り、農業大学校による職業訓練の実施と、青年就農給付金事業を活用するなかで、新規就農者1名を育成した。	750,000	就農を希望する者の相談の窓口となり、県と連携して農業大学校等による農業技術の習得などの職業訓練を実施することで、農業の担い手の人材育成を行う。また、農業次世代人材投資資金を活用して経営確立に資する。	産業観光課
				1人	○	新規就農希望者が先進農家で実践研修を行い農業技術等の習得を図るとともに、農業次世代人材投資資金を活用して営農開始した。	750,000		
	3-9	町が必要とする人材の募集【再掲】	仕事ごとの定住 5件(1件/年)	2件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	14,043,000	移住者受入地域づくり事業により設立された法人(一般社団法人ワノクニ)等と連携し、具体的な実施に向け、準備・試行を図るとともに、若者定住等集落活性化総合対策事業を活用し若者の定住を促進する。	地方創生室ほか (一般社団法人ワノクニ)
				5件	○	移住者受入団体(一般社団法人ワノクニ)の育成支援を行うとともに、集落活性化に向けた若者の定住促進を図った。	8,000,000		

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容	実績・予算		内容
4. 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる	4-1	八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】	ホームページアクセス数 300,000件/年	207,166件	△	本町の取り組み等を積極的に情報発信するためのイメージ動画を作成し、ウェブサイトを通じ全国に向けて発信した。	16,530,265	今後も魅力あるホームページを目指し、イメージ動画等を活用して、これからの地方創生への取り組みを広く全国に発信し、本町のさらなる知名度向上を図る。	企画課
				234,729件	△	八頭町の自然や観光スポットで開催したラップフェス「Torihada(トリハダ)」の模様を収録した八頭町CM第二弾を製作し、SNSやケーブルテレビ、県外放送局を活用し広く町のPR取り組みについて情報発信を行った。また、フェスに出演したアーティストのサイト、SNSで広い分野に情報発信を行った。	10,182,060		
	4-2	八頭町まるごとスポーツパーク構想	キャンプ地誘致 1か国	0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて県及び関係団体と協議を行い準備を進めている。	0	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて関係団体と連携を取りながら進める。	社会教育課
				0か国	△	東京オリンピック(ホッケー競技)の事前キャンプ地として外国チームへの誘致活動に向けて県及び関係団体と協議を行い準備を進めている。特にニュージーランドチーム関係者に接触し交渉を進めている。	0		
	4-3	積極的なイベントの開催・支援	イベント支援数(観光協会)H28 12件	17件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	14,634,000	観光協会に対して支援・連携を行い、イベントの開催を図る。	産業観光課 (八頭町観光協会)
				22件	○	観光協会に対して補助を行い、観光協会及び会員のイベントの開催を支援。	14,126,246		
	4-4	町民健康食育モニタリングの実施	参加者数 80人/年	0人	△	実施に向け協議した結果、明確な事業効果が期待できないため、平成29年度の事業は中止とした。	0	事業効果が不明確なため事業を中止。	保健課
				—	—	事業効果が不明確なため事業を中止。	0		
	4-5	特色ある地域活性化の拠点施設の整備	空き施設の活用 5件(1件/年)	3件	○	公共施設等のあり方検討委員会により再編及び有効活用等を検討。地域福祉拠点施設として旧中私都・たから保育所の整備、旧八東中学校の小学校への転用整備など活用を図った。	36,201,600	公共施設等のあり方検討委員会の報告及び八頭町公共施設等総合管理計画の方針に沿った利活用に努め、旧保育所の整備、旧小学校の転用整備など活用を図る。	総務課ほか
				3件	○	公共施設等のあり方検討委員会の報告及び八頭町公共施設等総合管理計画の方針に沿った利活用に努め、旧大江保育所・旧隼保育所・旧隼小学校の転用整備など活用を図った。	24,415,560		
	4-6	地域おこし協力隊による地域の活性化	派遣隊員 6人/年	6人	○	1名の協力隊の任期終了により6名となる。多くの人々と係わりながらそれぞれの活動をとおして地域の活性化に係る取り組みを実施した。任期終了後の協力隊は引き続き定住。	23,714,699	受入に前向きな集落へ地域おこし協力隊の派遣を行い、集落の活性化を図るとともに、任期終了後の地元定着について支援する。	産業観光課
				4人	△	2名の協力隊の任期終了により4名となる。任期終了後、1名は引き続き定住。新たな協力隊の募集を継続。	16,238,087		
4-7	郷土芸能、芸術・文化の振興	参加者数 150人/年	0人	△	検討中	0	郷土芸能発表会の開催に向けてのシミュレーション等を検討。	社会教育課	
			0人	△	『因幡麒麟獅子舞の会』発足に伴い加入案内・促進を行った。	0			
4-8	八頭町オリジナル教室の開催	参加者数 50人/年	376人	○	「とっとり芸術宅配便」事業として、丹比小学校、郡家西小学校が実施。県事業により、経費負担なし。	0	事業について積極的にPRし活用に努める。	社会教育課	
			250人	○	芸術ふれあい事業として郡家東小学校で『ジャズコンサート』を開催した。	370,000			

基本戦略	事業番号	戦略取り組み内容	KPI	28年度(上段)・29年度(下段)の取組			30年度以降の取組方針	担当課・関係事業体	
				KPI実績	達成状況	内容			実績・予算
4. 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる	4-9	地域の中心部における医療機関、商業施設、公共施設等の維持・集約	3地域	3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0	施設の統合等、整備計画に沿って整備する。	総務課ほか
				3地域	○	保育所・学校など規模等を勘案し、適正な配置に努めた。	0		
	4-10 【重点取組】	保育施設の環境整備【再掲】	保育所での多様なサービスの実施	保育所での多様なサービスの実施	○	船岡地域の3保育所を統合した新保育所の新築のため実施設計業務及び工事発注を行った。なお平成29年度より新保育所においても多様化する保育ニーズに対応するため、病後児保育や土曜午後保育を実施している。	733,536,861	病後児保育や土曜午後保育など保育サービスの多様化を継続実施すると共に、八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設を行う。	町民課
				保育所での多様なサービスの実施	○	鳥取市と連携し、病児保育事業の実施や八東地域の3保育所を統合した新保育所の建設に係る実施設計等を行った。	27,085,000		
	4-11	訪問看護ステーションサテライト施設の開設	設置数 1ヶ所 利用者数 25人	0ヶ所	△	29年度の開設に向けて、実施予定事業者との協議をするとともに、若桜町との共同設置について協議を行った。 ※ 28年度中は鳥取市内からの訪問を拡充。	0	訪問看護ステーションの事業継続。	保健課
				2箇所 利用者数35人	○	平成29年7月に1カ所、12月に1カ所開設。利用者は35人。(町外事業所も含めた訪問看護利用者は79人)。	0		
	4-12	地域の福祉拠点の整備	整備数 12施設(地区)	2施設	○	旧たから保育所、旧中私都保育所を改修し、地域福祉活動の拠点として整備。	36,201,600	閉所、閉校した保育所や小学校を改修し、地域福祉活動の拠点として整備する。	福祉課
				2施設	○	地域福祉活動の拠点として旧大江へき地保育所を改修するとともに、下私都地区福祉施設用駐車場を整備した。また、準Lab.内に準地区まちづくり委員会事務所を移転整備した。	24,415,560		
	4-13-①	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	買い物サービス利用者数 9,000人/年	8,062人/年	△	買い物支援事業継続について販売事業者に働きかけた。	0	買い物支援事業継続について販売事業者に働きかける。	地方創生室 (JA鳥取いなば農協)
				7,188人/年	△	買い物支援事業継続について販売事業者に働きかけた。	0		
	4-13-②	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	タクシー助成登録者数 1,300人/年	1,126人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行った。	10,316,720	広報等により事業周知を行い、登録者・利用者の増加を図る。公共交通機関での外出が困難なものについて、移動手段の確保を行う。	企画課
				1,275人	△	公共交通機関で外出が困難な高齢者等に対して、タクシー利用費の助成を行うことで、日常生活を営む上で必要な買い物・通院等への交通手段の確保を行う。	10,624,480		
	4-13-③	買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援	メディア活用支援利用者数 40人/年	0人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。	0	地域福祉活動では各地区での実施について引き続き働きかけを行うとともに、公民館講座等における活用支援を推進する。なお、高齢者が詐欺等の金銭トラブルに巻き込まれる恐れがあるためネットショッピング講座の実施は困難。別の買い物支援策(日常生活支援等)の検討も必要。	福祉課 中央公民館
				0人	△	地域福祉活動において、インターネットを使ったネットショッピング講座の開催を呼びかけたが、ネット被害やトラブルの懸念があり開催に至らず。	0		
4-14	公共交通体制の見直し【再掲】	公共交通網形成計画の策定(平成28年度)	策定済	○	若桜鉄道の安全かつ安定した運行維持を図るため、鉄道施設及び車両の保守管理について、着実に実施した。 平成28年3月に鳥取県東部地域公共交通網形成計画を策定。	0	若桜鉄道の安全かつ安定した運行を維持するため、鉄道施設及び車両について保守管理を着実に行うとともに、鳥取県東部地域公共交通網形成計画に基づく事業実施を進める。	企画課	
			策定済	○	策定済み。	0			